

# 1 自己評価及び外部評価結果

事業所番号	0670700608		
法人名	有限会社 在宅福祉サービスひまわり		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	山形県 鶴岡市稲生一丁目3番5号		
自己評価作成日	平成 21 年 9 月 25 日	開設年月日	平成 15 年 4 月 1 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)  
(公表の調査月の関係で、基本情報が公表されていないこともあります。御了承ください。)

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-yamagata.info/yamagata/Top.do>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成 21 年 10 月 22 日	評価結果決定日	平成 21 年 11 月 17 日

# (ユニット名 グループホームひまわり)

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

それぞれ過ごして来た人生を大切に、その人らしく生き生きと生活できる様、傍で温かく見守り、一人ひとりの思いを尊重しながら安心して共に笑顔溢れる毎日を送れるよう、全力でお手伝いさせて頂いています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

洋風の建物内にはおしゃれなインテリアが配置されており、クラシック音楽が流れるゆったりとした雰囲気のリビングでは利用者と職員の会話も弾み、ホームが目指している「利用者一人ひとりの思いを尊重しながら、笑顔溢れる日々を過ごせる場所」となっていることがわかります。  
町内会の役員を引き受けたり、雪かきや草取りなどの地区活動にも積極的に参加しながら、「地域の一員としての活動」から始め、現在では「地域の中核的な存在としての活動」へとステップアップしてきています。また、職員の能力や魅力を引き出し、伸ばしていくことへの取り組みには特に力を注いでおり、事業所内研修や同業者研修はもとより、「人間形成と倫理観形成」につながる県外研修への職員派遣も行われています。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない				

## 山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホーム独自の介護理念を作成し、職員間で理念を共有し合い、実践に取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念があり、ホールへの掲示や毎日の唱和を行い、理念を共有した実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の方が月1～2回訪問。 地域の保育園児との交流や、ボランティアの方々と の交流を実施。 散歩時に町内の方々との挨拶・会話を楽しむ等、 交流を深めている。	地区のお祭り、草取り、雪かきなどへの 参加、多くのボランティアとの交流、地 域の人や子供達が立ち寄ってくれる関 係、町内会の隣組役員を務めるなど、 地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	地域訪問や地区会議・研修会へ参加し、情報交換 及び、情報提供を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	2ヶ月に1回、市の担当者・町内会長・民生児童委 員・介護相談員・ご家族代表を含む9名で運営推 進会議を開催し、意見を出し合いサービス向上に 活かしている。	運営推進会議は市担当者等の出席を 得ながら2か月に一回開催されている。 事業や行事等の報告に加え、地域福 祉についての情報交換の場にもなっ ており、活発な意見交換が行われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる	市連絡協議会への参加。 市主催の研修会に参加。 市の担当者との運営推進会議での情報交換。	市連絡協議会の部会や市主催の研修 会への積極的な参加、また、月2回の介 護相談員の受け入れなどにより、日頃 から市担当者との協力関係が築かれて いる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型 サービス指定基準及び指定地域密着型介護 予防サービス指定基準における禁止の対象 となる具体的な行為」を正しく理解しており、 環境や利用者の状態を考慮しながら、 玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をし ないで過ごせるような工夫に取り組んでい る	身体拘束のマニュアルを回覧、及び社内研修会で の読み合わせにより、理解を深めている。 玄関は夜間のみ施錠。日中は安全を確保しながら 開放。	身体拘束をしないケアについてのマ ニュアルがあり、事業所内研修での読 み合わせ等により、職員の意識形成と 理解促進が図られている。また、「○○ に行くんだ」と言って外出しようとする利 用者を言葉で引き止めるのではなく、後 ろからの見守りまたは、並んでの会話を しながら職員も一緒に外出し、利用者 自身が納得してからホームに帰ってくる ようにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のマニュアルを回覧、及び社内研修会での読み合わせにより、虐待防止を徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護(成年後見制度)のマニュアルを回覧、及び社内研修会での読み合わせにより、職員間での理解を深めている。また、必要に応じて随時対応し支援する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時に十分な説明を行い、本人及びご家族に理解・納得して頂けるよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族へのアンケートを実施し、意見要望等に対応。 家族会での意見や、毎月2回訪問の介護相談員の意見・情報等を、運営に反映できるよう努めている。	家族アンケートを毎年実施して、その集計結果や内容(避難訓練や防火体制についての質問や要望など)をまとめ、家族に返すとともに事業所の運営にも反映させている。また、介護相談員の「気付き」についても検討されている。	
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見要望書の使用。 月1回定期的に事業所会議、及びリーダー会議を開催し、職員の意見や提案・要望等聞く機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表記入、及び個人面談により対応。 労働時間厳守。(残業禁止等)		
13	(7)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加。 本人の希望する研修への参加を支援。	「人間形成と倫理観形成」「音楽療法」「事業所内で介護技術検定」「事例に対する自己目標の設定と振り返り」「ストレッチ体操」「朝礼コンテスト」など、数多くの研修を積極的に取り入れている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県及び市の連絡協議会へ参加し、情報交換等の交流を実施。	県や市のグループホーム連絡協議会の研修に参加し、情報交換や交換実習を行いながら、職員の気づきを通してサービスの質の向上に繋げている。	
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の聞き取り調査の実施。 入居後もアセスメント等により、本人を多く知り、コミュニケーションを取る事で、信頼関係を築くように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の聞き取り調査の実施。 入居後に於いて随時本人・家族の声に耳を傾けながら信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人及び家族等の要望を十分考慮しながら、必要なサービスが利用できるよう随時対応。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護者としてだけでなく、ご利用者様との様々な場面での学びを大切にし、家族の一員としての関係作りに努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携を密に取りながら、信頼関係を深める事で、共に本人を支えて行くよう努めている。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会。 馴染みの方への訪問・外出時の支援。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中はリビング(食堂)で一緒に過ごすようにしている。 余暇活動及び季節行事への参加等で、利用者同士の関わりを持つ機会を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の相談や、退居先への訪問。(退居後もご家族による施設訪問あり。)		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話やアセスメント等により、本人の希望・意向を把握し対応できるよう検討。(本人の意向が確認出来ない場合は、家族代理)	介護計画作成時の課題分析、日常会話や関わりから思いや意向を把握しており、「毎朝の散歩」「ドライブ」「外食」「買い物」「美容室に出かける」などの支援に繋げている。また、困難な場合には家族等の意見も参考にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時及び、入居後のアセスメントや申し送り等で、職員全体で把握する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、申し送り等の徹底で職員全体で現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族及び関係者の意見や意向を聞き、実現できるよう職員で検討し、現状に即した介護計画を作成。	事業所独自のきめ細やかな課題分析シートを活用し、利用者担当職員の気づき、家族の要望、かかりつけ医の指示を取り入れた介護計画が作成されている。また、モニタリングや担当者会議等も継続的・定期的に行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録への記入により、職員間での情報を共有し、必要に応じて随時検討して見直しに活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 (小規模多機能型居宅介護事業所のみ記載) 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア団体との交流。 町内の方々の訪問や、町内散歩時挨拶・声かけ等の支援を実施。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医・その他医療機関は本人及び家族により、自由に選択して頂いている。また必要に応じて医療受診時の援助や情報提供等により、安心して生活を送れるよう支援している。	利用開始時に説明し、本人や家族の希望するかかりつけ医に受診している。また、必要に応じて職員付き添いや医療機関への情報提供も行い、適切な医療が受けられるようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設の有料老人ホームの看護職員との連携を密にし、相談や問題解決に対応できるよう、日常の健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者・医療関係者との情報交換及び提供等により関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる	本人・家族との話し合いで意向を確認。随時、本人・家族・主治医と話し合い、対応できるように支援している。職員間でのターミナルケアについての勉強会を実施。	利用開始時に意向を確認するようしており、状態変化に応じて本人、家族、かかりつけ医とも話し合い、職員間で方針を共有している。また、ターミナルケアについての勉強会も実施されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの回覧。 心肺蘇生法やAEDの操作方法等、社内研修会での取り組みを実施。 事業所会議前に、毎回必ず心肺蘇生法の訓練を実施。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を実施。 避難場所及び避難方法の確認と周知。	日中と夜間の災害発生を想定した避難訓練が、消防署の協力を得ながら実施されており、町内の防災訓練にも参加している。また、災害時の備蓄についての取り組みも進められている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	マニュアルの回覧。 人生の先輩であるという尊敬の気持ちを忘れず、思いやり・優しい言葉かけで接している。	「言葉遣い」をテーマにした勉強会の開催や個人情報に関するマニュアルの回覧がなされ、誇りやプライバシーを損ねない対応が行われている。また、「見学者受け入れ」の際にも、利用者のプライバシーが守られるように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の機会を多く持ち、話し易い環境を作ると共に、傾聴の姿勢に努め、利用者の自己決定を尊重。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活習慣やペースを大切にし、その人らしい生活が出来るよう支援する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望も含め、その人らしい身だしなみができるよう助言・援助で支援する。 本人の希望する理美容院を利用している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力・現状に合わせ、食事の準備や後片付け、食器洗い等を依頼し、職員と一緒にしている。	食事づくりに追われないよう併設施設で食事が作られているが、「盛り付け、配膳、食事、後片付け」と「ホットケーキや笹巻きづくり、バーベキュー大会」などは、利用者と職員が一緒に行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合った食事量・形態を提供している。 食事・補水等チェック表に記入し管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前の嚥下体操実施。 食後の口腔ケアの実施。 職員による定期的な口腔チェックと指導実施。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に合ったオムツ使用の検討と実施。 個々の排泄パターンを職員全体で把握し、時間や行動の様子を見て、トイレ誘導・声かけを実施。	排泄パターンが把握されており、こまめな声がけと誘導等により、リハビリパンツ使用から尿取りパット使用に改善した方もみられる。また、オムツ交換を居室内ではなくトイレ内で行っていることが、臭気対策の一つにもつながっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に合わせての腹部マッサージを実施。 排便・補水量のチェックと管理。 散歩・余暇活動参加等による、運動推奨。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調やタイミングに合わせて、定期的及び随時対応。	入浴を勧めても入りたがらない利用者もいるが、体調やタイミングを考慮しながら、週2回は入浴してもらえよう働きかけている。また、入浴剤使用、足浴、複数職員での介助なども行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や状況に合わせて、休息や睡眠の援助を実施。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員間で処方箋を回覧し、使用目的や薬効を把握。 職員による薬管理、服薬等のチェック。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活習慣や趣味、得意分野を發揮し活かせるよう支援。(読書、ドライブ、散歩、園芸等)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に副えるよう検討し、随時対応。季節行事での花見や果物狩り、ドライブ等、外出の機会を確保し、意欲向上に努めている。	毎朝の散歩、近くのスーパーへの日用品の買い物、馴染みの美容院の利用、お茶とお団子持参で行くお花見、季節の果物狩りなど、外出の機会を多く設けている。また、鶴岡駅から温海町までJRの電車で出かけ、お寿司を食べて帰ってくる機会も設けられている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	季節行事や買物等の外出先でのお金のやり取りの援助・支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時、随時対応。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔面や空調等は常に注意を払い、保てるよう努めている。 壁に季節の花の写真を掲示したり、ホーム独自で音楽(CD)を流し、居心地良い環境を整えている。	クラシック音楽のBGM、お茶会にも使える畳の間、見やすい大きな字のカレンダー、利用者が立ち上がりやすい椅子、利用者全員の顔が見えるようなテーブルやソファの配置、衛生面に配慮した空気清浄機や加湿器等の設置など、利用者が安心してゆったりと過ごせる共用空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブルの配置換えをしたり、和室を利用する事で、居場所作りを工夫している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使い慣れた家具や私物を持参して頂き、配置する事で日々安心して過ごせるよう支援している。	利用者の思い出の品々や使い慣れた物(写真、掛け軸、書道道具、そろばん、椅子、カレンダーなど)が持ち込まれており、安心して過ごせる「その人らしい居室」になっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり設置、バリアフリー等で安全に生活が送れる様、自立支援を行っている。			